

くりまっこ



元気いっぱい 笑顔あふれる 栗真の子

1年生が「誘拐防止教室」を行ったよ！

5月13日（月）3限目に、1年生が「誘拐防止教室」を行いました。津市では、県内外において、子どもたちへの声掛け・つきまとい等の不審者情報が高水準で推移していることを受け、子どもたちの安全安心を確保するための施策の一環として、津警察署の協力のもと、小学校1年生を対象とした「誘拐防止教室」を、毎年実施しています。



当日は、津警察署の職員の指導のもと、「子どもを犯罪被害から守るため」に考案された防犯標語「いかのおすし」の言葉～「行かない」「乗らない」「大声を出す」「すぐ逃げる」「知らせる」～の意味の確認をしました。例えば、「知っている人からの誘いであっても、お家の人の許しをもらわないといけないこと」「怖い人の前では大声が出ないことが多いので、普段から大きな声で挨拶をする習慣をつけておくこと」などを教えていただきました。その後、「がんこちゃん」のDVDを通して知らない人への対応のポイントを学びました。例えば、「木が多く茂り、落書きやごみの多い公園は管理されていないため不審者が潜みやすいので近寄らないこと」「人通りの少ない道路、高い塀や生垣の近く、曲がり角や車の陰などが危険であることを分かっていることが、まずは大切であること」などを学びました。その他にも、「子ども110番の家」や「子どもSOSの旗」の役割も教えていただきました。ありがとうございました。



「津市おはなしグループ連絡会」による「おはなし会」がありました！

5月16日（木）に「津市おはなしグループ連絡会」の方々が来校し、全学年を対象に、「おはなし会」を行っていただきました。3限目には、1年生・3年生・5年生に向けて、4限目には、2年生・4年生・6年生に向けて、それぞれの学年の発達段階に合わせた本を3冊ずつ準備していただきました。準備された本の原作は、日本だけでなく、海外の本も含まれています。本を通して、海外の文化を知るよい機会にもなりました。

この「おはなし会」ですが、よくある「読み聞かせ」とは異なり、本を見せながらではなく、語り手が、本に記載された内容をすべて記憶した上で、子どもたちを前に情感を込めて語っていくというものです。中には、15分ほど語っていただいた本～「長靴をはいたネコ」

～もあり、その記憶力には脱帽してしまいます。おそらく言葉としてではなく、文章を情景に置き換えて覚えているのではと思いました。このことから、読書をすることで、感性を豊かになり、想像力が育つということにも納得できます。「津市おはなしグループ連絡会」の皆さん、ありがとうございました。



読書と学力との関連～読書週間の大切さ～について

全国学力・学習状況調査の結果から、「読書が好き」と答えた子どもほど、国語と算数のテストでの得点が高いことが分かっています。平成28年度の結果では、国語では最大15点、算数では最大10点近く高いスコアを出しています。つまり、本好きな子どもは、国語だけでなく、算数でも良い成績をおさめることができるのです。では、なぜ本が好きな子どもは、これほどまでに高い学力を発揮することができるのでしょうか。松永暢史氏は、本を読むことで、国語力～日本語を用いてものごとを理解し、表現する力～が上達すると語っています。国語力はすべての科目を学んでいくうえで必要になる力です。国語力がない子は算数の文章問題が解けなかったり、社会・理科の授業や総合的な学習において自分の考えをまとめて発表することが苦手だったりします。つまり、国語力は、全教科に大きな影響を及ぼす、学力の基盤となる力なのです。そして、松永氏曰く、この力を身につけるのに効果的なのが「読書」だそうです。

平成25年度の全国学力・学習状況調査の結果に係る調査研究からは、「親の読書」と子どもの学力の関係についての発表がありました。この調査から、絵本の読み聞かせに限らず、子どもの読書習慣や、親からの読書の働きかけが、学力に強い影響力を持っていることだけでなく、もうひとつ重要な要素として、「親の読書」習慣が影響していることも判明したそうです。当然、親が頻繁に読書をする家庭の子どもほど、「読書の働きかけ」に応じて読書量が多いと考えられます。全く本を読まない親の言葉よりも、日頃からよく本を読んでいる親の言葉の方が、子どもも納得しますよね。親の読書習慣の有無が、子どもの読書習慣を左右し、国語のみならず算数の学力にも影響を与えていることを考えれば、親も本を読むようにしたいものです。

また、ショーイ氏によると、「読書は子どもの学力向上と関係するが、読書習慣の方が大事」であり、社会に出てからは、「学力」以上に、読書習慣から身につく能力である「興味があることを掘り下げる能力」「未知のことを知りたいという好奇心」「読書習慣による豊富な知識と語彙力」が重宝されると語っています。親子で読書週間が身につくとよいですね。